

ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」のエリア拡張 ～ドバイで開催のCOP13で認定～

10月に、アラブ首長国連邦のドバイで開催されるラムサール条約第13回締約国会議（COP13）で、ラムサール条約湿地の「円山川下流域・周辺水田」が、拡張認定される見込みになった。

1 ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」の拡張エリア

(1) 経緯

ア 平成24年、豊岡大橋以北の円山川下流域のコウノトリの生息域を保全する国指定鳥獣保護区が指定された。

イ 併せて、平成24年7月、そこに生息・生育する動植物の保全と賢明な利用を進めるため「円山川下流域・周辺水田」が、ラムサール条約湿地として登録された。

ウ 平成29年には、野外に生息するコウノトリが100羽を超えるなど、さらにコウノトリの生息域を保全する必要があることから、ラムサール条約湿地のエリアの拡張を目指してきた。

(2) 拡張面積

534ha

【内訳】

(ア) 既登録エリア 560ha

(イ) 拡張エリア 534ha

(ウ) 総面積 1,094ha

(3) 拡張予定区域

ア 円山川(豊岡大橋～蓼川大橋)

イ 出石川(円山川合流点～伊豆橋)

ウ 加陽湿地

エ 百合地人工巣塔周辺水田

オ 伊豆人工巣塔周辺の水田

※ 別紙『ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」拡張予定エリア図』参照

2 ラムサール条約第13回締約国会議（COP13）

(1) 日程

平成30年10月22日（月）～29日（月）

(2) 場所

インターコンチネンタル フェスティバルアリーナ（ドバイ）

(3) 授与式等

市長が、登録認定証授与式に参加するとともに、本市における湿地保全活動の要となるコウノトリ野生復帰の取組みを講演する。

ア 日時

平成30年10月23日（火） 午後1時15分～2時30分

(4) サイドイベント

会期中には、さまざまな団体によるサイドイベントが開催され、本市は、日本国際湿地保全連合が主催するフォーラムに参加する。

ア フォーラムのテーマ

アジア湿地シンポジウム 2017 の成果の共有

イ 内容

「災害リスク軽減のための都市湿地の機能と役割」について、参加者とディスカッションを行う。災害を経験した本市は、コウノトリ野生復帰の取組みを通じた湿地の重要性について共有する。

ウ 日時

平成 30 年 10 月 26 日（金） 午後 6 時 15 分 ～ 7 時 30 分

3 渡航者

市長、職員 2 人（国際交流員、コウノトリ共生課）

4 その他

この渡航を機に、本年 5 月から輸出が始まったドバイの「コウノトリ育むお米」取扱店を訪問し、継続的な取扱いについて再度のお願いをする。また、新規取扱店の開拓も行う。

(1) 訪問先

ア 既存取扱店

フォーシーズンズ・リゾート・ドバイ・アット・ジュメイラビーチ（ドバイ）

イ 新規訪問（予定）

日本食スーパー「ディーンズフジヤ」（ドバイ）

※ 新規訪問先は、現在調整中である。

《参考》

全体スケジュール

日 程	内 容	場 所
10 月 22 日（月）	羽田空港 ⇒ ドバイ空港（アラブ首長国連邦）	ドバイ
22 日（月） ） 26 日（金）	(1) ラムサール条約第 13 回締約国会議 ア 開会式 イ レセプション ウ 登録認定証授与式 エ サイドイベント参加 (2) コウノトリ育むお米取扱店等訪問	ドバイ
10 月 27 日（土）	ドバイ空港 ⇒ 羽田空港	

〔問合せ〕 豊岡市コウノトリ共生部コウノトリ共生課 TEL 0796-21-9017

ラムサール条約湿地「円山川下流域・周辺水田」拡張予定エリア図

